



広報 なかわだ

第 379号

6 月の予定

教会委員会 6 月 12 日 (日)
 信徒の会 6 月 19 日 (日)
 子どもと共に捧げるミサ 6 月 26 日 (日)



20 11年 6月号

中和田カトリック教会
 広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23 年 6 月 5 日

Dove of the Holy Spirit (St.Peter's Basilica, Vatican; Bernini, 1600)

聖霊の注がれる生き方

主任司祭 小林 陽一



昔は、今の聖霊降臨の主日を、聖霊降臨の大祝日と呼んでいました。その主日の意味するところが非常に重要であるため、そのように呼ばれていたと思います。

私は静岡県 of 神山復生病院を一度訪ねたことがあります。多分、私が神学校に入学した年の聖霊降臨の主日の頃だったと思います。神学生の中で訪問を希望する者が、電車やバスを乗り継いで、東京カトリック神学院哲学部（中央線の市ヶ谷駅から歩いて 5 分）から御殿場線の御殿場駅まで行き、御殿場駅から沼津行きの乗り合いバスに乗り、神山復生病院まで行きました。

神山復生病院の患者さん達は、みな明るく、会うとやさしい声で声をかけて下さいました。私は初めて訪ねた所でしたので、心が和みました。神学生による病院訪問ですが、訪問といっても、個室におられる患者さんに「暑くなりましたね。お変わりありませんか」とか「元気ですか」と言うくらいで、ゆっくり何かを話すということはありませんでした。その夜、神

学生は、畳のある大部屋で毛布をもらって合宿のような感じで眠ったように思います。

次の日の早朝、パリミッション会のプラノマルティ神父様と神学校の神父様が聖霊降臨のミサを司式して下さい、そのミサに患者さん達 30 人くらいとシスターや職員の方 15 人くらい、神学生 15 人くらいが与りました。このミサの聖体拝領のとき、住む土地は違っても、ミサに与る人はみなキリストの兄弟なのだ、そしてキリストを信じている人は、心は一つという思いを強くいたしました。

昭和 43 年（1968 年）の頃の神学院哲学科の私たちの語学の必修科目はラテン語と英語で、毎日予習、復習に明け暮れておりました。そんな日々を送る中での神山復生病院の訪問は、心安らぐひとときでしたが、患者さん達のこれまでの生活に思いを向け、これからの生活に思いを向けると、信仰生活が患者さん達にとってこの上なく大切なものであることに気づき、司祭職を志す私にとって大きな心の支えとなりました。

聖霊は様々な苦勞を重ねた患者さん達、患者さん達を看護し、生活を支えておられるシスター方、そして職員の皆様、神父様方に働いておられると思いました。聖霊は、謙遜な生き方をしておられる方に、必ず注がれていると信じております。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
3	金		初金ミサ (10 時)	掃除
4	土		主日ミサ (18 時)	
5	日	主の昇天	主日ミサ (9 時)	
11	土		主日ミサ (18 時)	掃除
12	日	聖霊降臨の主日	主日ミサ (9 時)	サロン
18	土			掃除
19	日	三位一体の主日	主日ミサ (9 時)	
24	金	洗礼者ヨハネ誕生日	ミサ (10 時)	
25	土			
26	日	キリストの聖体	子どもと共に捧げるミサ (9 時)	ミサ後掃除 (AB 地区)
29	日	聖ペトロ聖パウロ誕生	ミサ (10 時)	

祭壇・会衆席改修工事報告NO1

「神さまから中和田教会へのプレゼント」

中和田教会建物を考える会

祭壇・会衆席改修の切っ掛け

2008年頃、要理学校の子供から「なぜ、中和田教会聖堂にはイエス様が居ないの」、また信徒の方からは「パイプ椅子はどうかにならないの」等聖堂に対するご要望がありました。《建物を考える会》では、教会内の「防犯対策・災害対策・弱者対策・設備劣化（使い勝手）」を設備ごとに分析し、優先順位を付けながら打合せを繰り返しました。

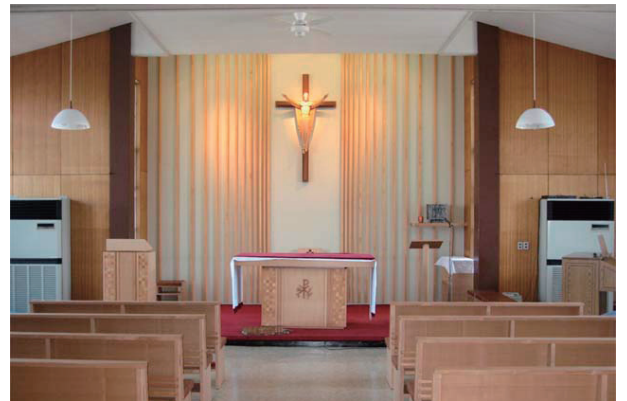
また、司教教書が2007年4月に出され、「私たちの教会がキリストの教会としてあり続けるためには、三つの欠かせない要素があります（p5）。すなわち、祈りが捧げられる・信仰が伝えられる・愛の証しがなされていることです。これらが出来る共同体づくりに努めてください。」この指示を契機に検討が進みました。

皆様との話し合い

2010年信徒大会では、祭壇・会衆席改修計画について皆様にお話しして、了解をいただき詳細の検討に入りました。そして2010年3月に横浜教区に相談に行きました。事務局長の古川神父様には、「横浜教区の典礼委員である（大船教会）久我神父様に相談して見てはどうですか。工事業者もナザレトの大川様が良いのでは」とご意見をいただきました。

4月25日久我神父様を中和田教会にお招きして、《建物を考える会》の検討案について相談に乗っていただきました。当日久我神父様は「ローマ・ミサ典礼書の総則」を基に、《建物を考える会》は、横浜教区報54,55,57,58（2007年～2008年）典礼コーナーを中心に議論させていただきました。その結果は

- ◆祭壇の十字架＝キリストの姿を付けた十字架を置き、会衆から見えるようにする。
- ◆祭壇＝劣化が進んでいる祭壇より、むしろ品位ある簡素な物に改善を検討する。
- ◆朗読台＝朗読台ではお知らせは出来ない事になっていますので、入・閉祭台を新設する。
- ◆座長席＝司式司祭は集會を司り、祈りを指導する役割を果たす重厚の物を検討する。
- ◆侍者席＝座長席と合わせた物を検討する。
- ◆祭具台＝他の什器とバランス良い物を検討する。
- ◆聖櫃＝聖櫃をミサが執り行われる祭壇中央でなく、内陣の右手に移動を検討する。



そして、工事業者は久我神父様もナザレトの大川様が良くと推薦していただきました。

工事をしてくださった大川様の紹介

6月に大川様をお訪ねしました。NAZARETH（ナザレト）の大川様は「ビエタの囑託」の仕事をされており、気さくな方でした。今まで400数か所の教会祭壇等を作られている方です。今回は特に神様から「中和田教会の皆様と一緒に作りなさい」と言われたそうです。そして「作った物は100年もつ物を作ります」と言っていただきました。そんな事から今回の報告のサブタイトルを「神さまから中和田教会へのプレゼント」としました。

更に、什器のプレゼントとして「復活のローソク台」「入閉祭台」「告解室信徒側の椅子（座る事が難しい方用）」を、また、工事としては聖櫃の移動をしていただきました。

大震災による工事の困難と工事費について

3月11日の東北大震災以降、かなりご苦労されたようですが、中和田教会の皆様が期待されていたように、2011年聖週間の聖木曜日には、イエス様像の取付け、祭壇・朗読台・会衆席を納入していただきました。「本当に良い復活祭」が迎えられました。更に、5月には全工事が終了しました。工事費についても、中和田教会の支払いに無理のないよう、ご配慮をいただきました。

「神さまと大川様に感謝」。短い期間でありましたが、中和田教会の皆様にも「いろいろな面でご協力いただきました。ありがとうございました。」

『信徒の会』例会の分ち合い

（“介護”など； 5月15日 15名出席）

例会の冒頭で、会長より5月度教会委員会の概要報告があり、とくに、納涼ガーデンパーティが信徒の会主体で企画。実行されることになったことで話題が盛上がりしました。

岩渕委員長からも、ナザレト工房大川様をお招きしてご経験談などいろいろなお話を伺う機会にしては、との提案も頂き、この方向で検討を進めることとなりました。

続いて、分かち合いが自由な雰囲気の中で始まりました。これまでの例会を振り返って...

- 女性の目線からの話が聞けるようになった
- 参加する1人ひとりがく感じていること>を自由に表現できる場になっている
- 目が開かれるチャンスになった
- よい話が出たら、信徒全体にエコーしていくとよいですね

- 典礼と祭壇花のお話を聞いて、今まで無関心だった祭壇に置かれている花に心を留めるようになった。とても新鮮だった

- 話すことは精神衛生上にとってもいいことだと思うなどの感想が、次々に出てきました。

次いで、この日のテーマ＜介護＞に移り、Tさんがお母様を見送るまでの、お母様の生きざまや、そこから学んだ自分自身のこれからの生き方を分かち合って下さり、最後に「信仰の力に支えられて」と結ばれました。在宅療養に関する情報なども紹介され、この日の集會が終わりました。

（小野 雅彦、岩崎好愛）



なかわだの 声



5月21日土曜日の午後、新集会室に横浜、川崎市内の小・中・高校の理科教諭の皆さんが三々五々集まってきました。これは、当教会の信徒である森脇氏が声をかけて集まってきた方々です。

自然科学を通して青少年の育成を、そして宣教にもつながればと考えておられる森脇氏のひとつの試みとして、青少年に関わりを持つ理科系の先生方を対象に開かれたものなのです。

信徒会の一員である森脇氏に協力する形で、この日お手伝い旁々参加させていただきましたが、たいへん興味と関心をそそられるものでした。資料として森脇氏が用意された、平素は目に留めない種子の発芽の状態や顕微鏡を通してのプランクトンの様々な姿の観察など、直接見て、触れて、聞くことで、どんどん引き込まれていきました。子供さん達にも、教科書やテレビ、ビデオではないこのような自らの目と手で触れる体験の機会が与えられれば、きっとワクワクして、集中力も高められるのではないかと思います。

こうして自然のいのちの営みや神秘に触れ、そこに人間の力を超えた“何か”を感じ取ることで、神への畏敬の念や同時に親しみが生まれれば、信仰の心も更に育っていくのではないのでしょうかと思いました。

よい機会が与えられたことを感謝いたします。
(岩崎・記)



第20回 湘南キリスト教セミナー

子どもにも参加できます

子どもの心に目をむけて

愛の伝わる かかわりかた

—みえていますか、心のサイン—

おの やすよ
講師 小野 恭世
(イエス女学校 修道士)



ぜひ、
ご参加下さい！
申込みは
井上昭男、
小野和江 まで

【日時】2011年6月11日(土)14:00~16:00

【場所】カトリック鍛冶ヶ谷教会 参加費 300円 定員200名

教会からのお知らせ（転入）

5月10日付で次の方々が、大阪教区 古屋教会（和歌山県）から転入されました。

泉区西が岡にお住いで、A地区所属です。

ベルナデッタ	はざま 裕	ひとみ	さん
ヨゼフ		康一朗	君
ブルーノ		大二朗	君
マリア・インマクラータ		あゆみ	さん
パウロ		雄太朗	君

全員参加の清掃の実施

営繕グループ

現在行われている毎週土曜日の清掃では、参加人数が少なく、聖堂のイスを動かして、掃除することが困難です。聖堂の改修も完成し、きれいな環境を維持するために、営繕グループではより多くの方に教会の清掃に御参加頂きたいと考えます。

このため、しばらく行っていなかった、全員参加の清掃を下記要領にて行うことと致しました。

皆様の御協力をよろしくお願い致します。

●清掃実施日： 毎月第四日曜日 ミサ後（6月26日より）

●実施場所：聖堂（イスを移動）

新集会室

（階段、二階廊下、トイレについては、点検して汚れている場合行う）

（尚、新集会室は、使用した方が終了後清掃することが原則です）

●清掃方法： モップおよび掃除機

●グループ分け：

2グループに分けて行う（A,B地区とC,D地区）

6月26日A,B地区、7月24日C,D地区

*実施に当たってのイスの移動方法など、詳細は別途お知らせいたします。

*中高生の方たちも、ぜひ多くの参加をお願いいたします。

尚、土曜日の清掃は毎週5～6人で従っておりませんが、人手不足状態です。こちらにつきましても多くの方々の御協力をお願い致します。

岩淵委員長の コラム



■ 既にお知らせしましたように、皆様からお寄せ頂きました東北関東大震災の募金は、カリタスジャパンと仙台教区に送りました。このほど仙台教区の平賀司教様からご丁寧なお礼状が届きました。（廊下のボードに掲示してあります。）お礼状には、精力的に被災者救援に当たられている状況が書かれていますが、「全国の教区・教会・修道会からの応援により、この一ヶ月を何とか切り抜けて参りました。しかし、あきらかに長期戦が強いられる状況です・・・皆様、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。」とありますように、大変苦勞されているようです。私たちの募金も九月末まで継続したいと考えますので、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

■ 聖堂の工事が全て完了致しました。これまで、構想から設計、製作、施工まで一手にお引き受け下さった大川様、2年間にわたり検討してこられた教会建物を考える会の方々にあらためてお礼申し上げます。そしてこの工事が可能になったのも、長期間に亘り、建設会計に献金を続けてきて下さった信徒の皆様の熱意、御支援、御提言であり、心からお礼申し上げます。

今回の工事は一段落しましたが、これからも皆様のご要望に沿って建物や設備の改善を進めて行ければと思います。皆さんと一緒に考えて行きましょう。

■ 日頃より毎週土曜日の掃除に御協力頂きまして有り難うございます。6月からは毎月第4日曜日に聖堂の椅子を動かしての掃除を実施することになりました。詳細は広報今月号の記事を御覧下さい。第4日曜日に実施していた恒例のサロンをどうするかは別途検討する必要があります。ご意見、ご希望がありましたらお聞かせ下さい。

委員会だより

(文中敬省略)

△5月8日(日) 12名出席▽

■小林神父の話

《祈り》東日本大震災の支援が始まり、改善の方向にあるが、私たちが被災者の方々に何が出来るか、主の導きを願い、祈りましょう



- ①トイレ詰まりで、急遽専門業者に来て貰って復旧したが注意喚起する。(後述の「総務からお願い」参照)
- ②堅信式は6月19日の予定だったが、梅村司教の都合がつかなくなったため、延期して9月18日に行なうことに決定
- ③聖木曜日ミサ中の洗足式は、足を洗ってもらった役の希望者が皆無で、取り止めた。小林神父は、中和田の成人信徒が、祭壇前で、(会衆席の方に向いて)足を洗ってもらったことに抵抗がある、

足を洗ってもらった役も祭壇奉仕であるが、これを引き受けることに途惑いがある、との印象を受けている。今後は大人も祭壇奉仕者の仕事を引き受けて頂き、慣れよう。典礼Gに検討願いたい

- ④聖堂改修工事ならびに備品搬入は、壁板、聖櫃を除いてほぼ完了した。
- ⑤5月21日の神父出張に伴う鍵の引継ぎ
- ⑥助祭叙階式(5月15日)の案内
- ⑦聖体奉仕者研修会に中和田からも受講者を送りたい。(本件後述参照)
- ⑧中高生リーダー研修会について(後述)

■各グループからの報告・課題提起

●典礼(大宮)

- ・5月29日のミサ後に典礼ミーティングを開催して、「葬儀のマニュアル(通夜)を説明し、信徒の意見を求める
- ・聖週間の、多くの方々の奉仕に感謝
- ・聖木曜日の復活徹夜祭の祭儀が2時間15分にも亘って長過ぎるという意見が多かった。改善策を考えていく
- ・高齢者用椅子の最前列設置を試行

●財務(甲斐)

- ・報告書書式を簡素化して見易くした
- ・4月分カラー印刷代が増えている。数か月分纏まっている可能性あり、別途精査
- ・信徒の皆さんにご協力を頂いた東日本大震災の被災者支援のための特別義援金は、第一弾として、仙台司教区とカリタスジャパンそれぞれに10万円ずつ送付した。

●宣教(井上、石井(悠)、石崎)

- ・第5地区教会学校キャンプが8月19、22日に開催されるが、会場の栄光学園施設の収容人数に余裕があり、中高生についても考えていくことになった。
- ・5月29日に第5地区教会学校運動会が開催される。中和田からは4家族しか参加出来ないが、答唱詩篇を担当する同日は子どもたちが侍者の奉仕が出来ないので対応願いたい(石崎)
- ・堅信の勉強会は、該当者への働きかけをしているが捗々しくない
- ・森脇さんが、飼育/増殖しておられる理科教材(生物)を今年も近隣学校へ配布する。この配布の会が5月21日に中和田教会で行なわれる。宣教の観点からも有難いことであり、ご都合のつく方はお手伝いを願いたい。(石井(悠))
- ・区民クリスマス2011に向けて実行委員会が5月20日からスタートする。宣教G中心で対応するが、他の方々も参加して頂きたい。(石井(悠))
- ↓是非、石井さんからいろいろな機会に信徒に呼びかけて頂き、雰囲気づくりをして頂きたい《岩淵委員長》

●営繕/建物を考える会(福島)

- ・区民クリスマスに一般の方の参加を働きかけるために、キャロリング中心に中和田教会でも練習を行いたい
- ・が差し支えないか? (石井(悠))
- ↓宣教の視点から、とてもよいことだと思ふ《小林神父》

●送設備改善の検討を行なっている。

- ・月1回の全体掃除のやり方を検討中
- 福祉(中島)
- ・女性用衣類を集中的に集めているので協力をお願いしたい
- ・お米は信徒の協力で継続的に集まっている
- 行事(武田(幸))
- ・復活祭祝賀会の反省・感想
- 椅子が木製ベンチになってよかった
- テーブルの配置も問題なかった

★『いつたい未信者の方々は何人来られたのか?』との質問に関連して:《小林神父》

- 日頃から「未信者をお迎えする取組み」が必要である
- 「お迎えする姿勢」が最も大切である
- 「よその人」という意識は駄目
- この件は、話し合いが大切と思う
- 《岩淵委員長》
- 重要な案件であり、「課題アイテムリスト」に加えて検討を深めていく
- 検討の仕方は、委員長預りとする

- ・本年度バザーはBC地区が主体で推進
- 地区代表に加えて、去年と同じく次の4名(岩淵、甲斐、福島、小野)にバザー委員をお願いする↓4名了承
- 6月5日に第1回バザー委員会を開催
- 総務(小山(恭))
- ・前出のトイレの件、連絡網更新など
- 広報(小野)
- ・特別な報告事項なし

●信徒の会(小野)

- ・4月度例会では、船水さんにお話しして頂いた。内容・雰囲気などは広報に掲載したが、よく分ち合いが出来たと感じる。船水さんは病氣療養中にも関わらずお申し出を頂き実現した。感謝。
- ・5月度例会は、再び「介護」をキーワードに分ち合いを行なう予定

■報告事項

- 前庭マリア像の補修を、星川さん中心にやっていた。(バラに関する提案につ

いては、松下さんと相談して進める)

- 震災義援金の募金箱は9月いっぱいまで置いて募っていく
- 教区研修の申込状況が捗々しくない。本年度は間に合わないとしても、『信徒の会』で受講経験者の話を聴く場をつくるなど、啓蒙活動を行なっていく
- 日本聖書教会からの献金依頼は、本年度は東日本大震災を主軸として活動するので、辞退する(返答済み)

■討議事項

- 復活祭等の反省は各G報告議論済み
- 広町町会一斉清掃が6月5日の9時から行なわれる(実質的に8時から)ご協力をお願いする
- 聖体奉仕者研修会受講者の選任《委員長提案》
- ・既に、5月8日ミサで主任司祭が信徒に受講勧奨の話をしたが、これと並行して推薦者をリストアップすることとし、これは、委員長、典礼、福祉、宣教の各委員、前委員長で行なうこととしたい。↓委員会了承
- ・このリストは主任司祭に提出し、応募者とリストアップされたメンバーから主任司祭が指名する。聖体奉仕者については、受講者を軸に別途選定

■その他

- 前掲の中高生リーダー研修会の参加者は別途検討(石井(悠)預かり)
- 以上(次回は6月19日)

■総務からお願い

- トイレのご使用につきましては、次の事項の厳守をお願いいたします
- 備え付けトイレレットペーパー以外の紙は使用禁止
- 紙おむつは持帰ること

